



2018年9月3日

各 位

上場会社名 株式会社トーホー
 代表者 代表取締役 古賀 裕之
 (コード番号 8142)
 問合せ先責任者 取締役 財務部担当 佐藤 敏明
 (TEL 078-845-2431)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年3月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年1月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年2月1日～2018年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	109,500	1,030	960	460	42.34
今回修正予想(B)	105,000	600	620	520	48.34
増減額(B-A)	△4,500	△430	△340	60	
増減率(%)	△4.1	△41.7	△35.4	13.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年1月期第2四半期)	102,230	806	846	447	41.18

2019年1月期通期連結業績予想数値の修正(2018年2月1日～2019年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	222,000	2,200	2,050	820	75.85
今回修正予想(B)	220,000	1,800	1,740	900	83.66
増減額(B-A)	△2,000	△400	△310	80	
増減率(%)	△0.9	△18.2	△15.1	9.8	
(ご参考)前期実績 (2018年1月期)	207,631	1,838	1,749	458	42.46

修正の理由

(1) 2019年1月期第2四半期(累計)連結業績

2019年1月期第2四半期(累計)連結業績につきましては、外食産業向けに業務用食品卸売を営むディストリビューター事業において昭和物産株式会社(当期8月グループ入り)の子会社化が当初の計画から遅れたことに加え、キャッシュアンドキャリー事業において閉店(3店舗)を前倒し実施したこと、また大阪北部地震や7月の豪雨の影響もあり、売上高は当初の予想値を下回る見込みであります。

また、それに伴い売上総利益が当初計画を下回り、営業利益、経常利益ともに当初の予想値を下回る見込みであります。

一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、社有不動産売却に伴う特別利益の計上により、当初の予想値を上回る見込みであります。

(2) 2019年1月期通期連結業績

2019年1月期通期連結業績につきましても、2019年1月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正及び今後の経営環境を鑑み、当初の予想値を修正するものであります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において、当社が入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績は今後様々な要因により、当該予想と異なる場合があります。

以上